

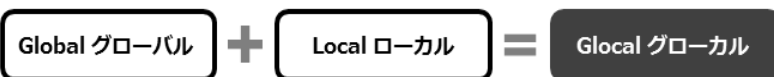
取組実績の概要【2ページ以内】

共愛学園前橋国際大学 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（GGJ）実績

1. 大学のグローバル化推進

次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー育成

地域と共にある大学として、地域に根差しながら、地域と世界をつなぎ、地域の振興を先導する人材としてのグローバルリーダーを育てる。



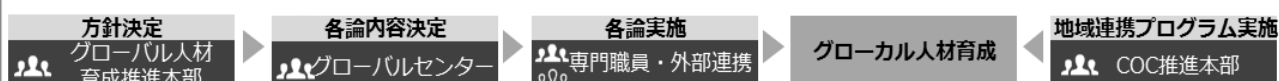
グローバルリーダーに必要とされる資質
「地域と世界をつなぐリーダーシップ」

- ・語学力・社会人力・異文化力
- ・地域人としてのアイデンティティ

すなわち、グローバルリーダーとは…

産業界・地域社会に必要とされる人材

グローバルリーダー育成の推進体制



留学支援体制の強化

<p>SNSの有効活用 同じ研修に参加する学生同士の情報共有や滞在中の連絡手段、帰国後の体験共有を円滑化</p>	<p>留学中の定期面談 留学中の学生に定期的にSkypeを利用して対面による相談対応およびアドバイス当を実施</p>	<p>危機管理セミナー実施 海外研修参加者の危機管理セミナー参加を必須化し、学生の危機管理への意識向上を推進</p>	<p>緊急時対応の強化 民間企業との連携により、海外研修中のトラブル相談等への迅速な対応を可能にした</p>
---	---	---	---

2. Global Career Training 副専攻の設置

Global Career Training 副専攻の設置

国際通用性向上を図るために平成25年4月に開設。語学、理論・スキル、実践科目で構成されており、修了要件を30単位とする。



<p>Global Language Intensive 語学力を身に付ける</p>	<p>Skypeを活用した英語授業 One on One English は海外講師と1対1で学習を行う全国初の試み。</p>
<p>Global Skills 理論・スキルを高める</p>	<p>英語のみでアクティブラーニングを展開。夜間に開講し、地域の企業人や教員も参加可能。</p>
<p>Global Project Work 地域連携実践型人材育成</p>	<p>地域の児童・生徒や社会人と共に学び、地域と世界をつなぐ人材に共に成長する。</p>

育 成
ロ ー
推 進
バ ル
協 議
人 会
材

グローバルビジネスセミナーの開講

大使館関係者、在外企業人等を招きセミナーを実施。講師の講話聴講と共に意見交換の場を設けることにより、学生のグローバルマインドの醸成を図る。
(平成25～28年、計17回実施)

実
施
一
例

地域と世界を繋ぐグローバルマインド	講師：株式会社ジェイアイエヌ代表
アメリカにおける多文化主義	講師：在日米国大使館職員
海外で働く、Be a Glocal Leader	講師：伊勢崎市教育委員会教員
国際協力 in ネパール	講師：JICAジャパンデスク職員

3. 教育課程の国際通用性向上

<p>シラバスの充実・多言語化 平成28年導入 シラバスに学修成果指標「共愛12の力」と授業外学修時間の目安を明示し主体的な学修を支援</p>	<p>ナンバリング制度導入 各科目の系統・難易度を明確化し、自身の学びの体系的な理解促進を図る 平成27年導入</p>
<p>GPA、キャップ制度、成績評価の厳格化 成績の数値化、取得単位数上限制限、最上級評価の厳格化により学びの質向上 平成27年導入</p>	

4. 国内外への情報発信強化

- SNS** Kyoai Glocal Project Facebookページの開設
- WEB** Kyoai Glocal Project 事業ウェブサイトの開設
- ENG** 英語版大学公式ウェブサイトの開設
- ENG** 英語版大学案内発行
- PR** 他大学等の視察受入れ
- PR** セミナー等講師派遣



5. 地域連携によるプログラム策定

<p>企業との連携</p> <p>海外 ミッショングローバル研修 地元企業の現地法人（タイ）より現地マーケティング等の課題を提示され、ヒアリング調査、解決手法を模索するPBL型研修。 主体性 ↑</p> <p>海外 アジア異文化研修 アジア圏(タイ、台湾)での現地大学生との交流や地元企業の海外拠点を訪問し異文化理解を深める。海外研修エントリモデル。 異文化理解 ↑</p>	<p>グローバル人材育成推進協議会</p> <p>地域のグローバル人材育成を目的として、地域企業、教育界、連携大学と協働の人材育成プログラムを開発・展開。</p>	<p>教育委員会との連携</p> <p>海外 海外研修サポートインターン 中学生の海外研修（アメリカ）に同行し、現地のみならず事前事後研修における教員や旅行添乗員の仕事を支援する就業体験。 実行力 ↑</p> <p>国内 児童グローバルワークショップ 地元の小学6年生児童を対象に海外を身近に感じてもらうためのワークショップを学生が企画・運営するPBL型研修。 柔軟性 ↑</p>
<p>他大学との連携</p> <p>国内 One on One English Skypeを活用した在フィリピン講師との1対1の英語レッスン。「話す・聴く・書く」の英語能力を高める。 語学力 ↑</p>		

6. 海外留学への動機づけ機会の拡大

<p>海外研修プログラム数</p> <p>13 → 27 H24 H28</p> <p>学生の選択の幅を広げるために多種多様な行先や目的を有するプログラムを新設。学生のニーズに応えることで海外研修に参加する機会を促進。</p>	<p>海外研修直接広報人数（のべ）</p> <p>170 → 1300 H24 H28</p> <p>説明会の機会を増やし、過去参加学生の体験発表など、内容を充実させることで、学生が海外研修プログラムを知る機会を増やした。</p>
<p>海外大学協定等締結数</p> <p>4 → 22 H24 H28</p> <p>海外大学との交換留学協定を拡充した。平成29年度には5地域から10名の留学生を受け入れ、本学の学生は、約20名が協定先大学へ派遣予定。</p>	<p>海外研修参加学生数</p> <p>120 → 160 H24 H28</p> <p>海外研修プログラム数と交換留学協定校の拡大、広報活動の充実等により、海外研修に参加する学生数の増加に繋がった。</p>

7. グローバル化 変化と成果

<p>「THE世界大学ランキング日本版2017」評価</p> <p>2位 全学生に占める短期留学経験者の割合</p> <p>18位 全授業に占めるアクティブラーニングで行われる授業の割合</p> <p>27位 国際性（外国人学生比率、外国人教員比率）</p> <p>本学は非英語圏へのビジネス型実践プログラム、初心者向け異文化研修等の短期留学を推進していること、および教員向けアクティブラーニング研修を充実したこと、がランクインの要因</p>	<p>英語コース学生TOEICスコアの伸び</p> <p>361 → 484 → 534 → 571 入学 → 2年 → 3年 → 卒業時 2016年度卒業生実績</p> <p>入学時から個人の語学力に合わせたクラス編成を行い、少人数に特化した語学授業を行うことにより、入学時から約200点TOEICスコアは伸びている</p>						
<p>グローバル人材育成による学生の成長</p> <p>平成28年度卒業生に実施したジェネリックスキルの客観的測定PROGテストにおいて、グローバル関連科目の履修の有無によってコンピテンシー（周囲の環境と良い関係を築く力）、リテラシー（実践的に問題を解決に導く力）スコアの伸長がみられた。</p>	<p>グローバル関連科目履修の有無とPROGスコア</p> <table border="1"> <tr> <td>コンピテンシー</td> <td>4.63 (非履修)</td> <td>4.93 (履修)</td> </tr> <tr> <td>リテラシー</td> <td>2.39 (非履修)</td> <td>2.92 (履修)</td> </tr> </table> <p>■非履修（82人） ■履修（72人）</p>	コンピテンシー	4.63 (非履修)	4.93 (履修)	リテラシー	2.39 (非履修)	2.92 (履修)
コンピテンシー	4.63 (非履修)	4.93 (履修)					
リテラシー	2.39 (非履修)	2.92 (履修)					

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ】

地域コンソーシアム「グローバル人材育成推進協議会」によるプログラム創成と展開

グローバル人材育成推進協議会



地域のグローバル人材育成を目的として、地域企業、教育界、連携大学と「グローバル人材育成推進協議会」を設立し、人材育成プログラムを開発・展開。協議会は、共愛学園前橋国際大学、伊勢崎市教育委員会、サンデン株式会社（現サンデンホールディングス株式会社）、早稲田大学社会連携研究所、明治大学文明とマネジメント研究所（設立当時）によって構成されたコンソーシアムで、参加する団体がお互いに協働しながら、地域の中でグローバル人材を育成する。

地元グローバル企業との連携

海外 ミッショングローバル研修

伸長する能力

実行力

主体性

現地語での自己紹介をするという課題に始まり、段々と課題のレベルが上がってくる。最後の課題は地元グローバル企業の英語圏でない現地法人企業よりマーケティングなどの課題を提示され、現地の方へのヒアリング等により解決手法を模索する。英語が通じないアウェイの地で、各種活動を行うことにより主体性や実行力を養うことを目的とする。また、帰国後の事後研修において企業への課題報告をすると同時にビジネス視点での考え方を実務担当者から学ぶ。



現地大学生に街頭調査



企業にて調査結果の報告

平成28年度実績

事前研修 平成29年1月20日 プレゼンテーション技能勉強会

本研修 平成29年2月4日～2月21日 18日間
研修地：タイ・バンコク他

事後研修 平成29年3月30日 帰国後課題報告会

参加学生 9名（1年生5名、2年生3名、3年生1名）

1st MISSION

タイ語で自己紹介が出来るようにせよ！

2nd MISSION

現地大学生の就職や将来のキャリアに対する意識を調査して報告せよ！

3rd MISSION

バンコク市内の日系ラーメン店からのミッション
学生顧客を増やすためのプロモーションを提案せよ！

4th MISSION

日系リサイクル品販売買取専門店からのミッション
顧客が求めているヒット商品を提案せよ！

FINAL MISSION

飲料自販機をタイで製造する日系企業からのミッション
タイ人の「飲み物」に対する意識を調査して、どんな仕様の飲料ショーケース・自販機が良いかを提案せよ！

地元企業との連携

海外 アジア異文化研修

海外経験の無い、もしくは少ない学生向けに異文化を理解することを目的とするフィールドワーク型研修。提携大学との学生交流、地元企業の現地オフィス訪問等を行う。研修費用も安価にしたエントリーモデル研修に位置付け。

地元教育委員会との連携

海外 海外研修サポーター

中学生の海外研修に同行し、引率教員の補助や中学生のサポート等を通して、教員や旅行会社の仕事を体感するインターンシップ。参加学生は、日本で行われる事前事後研修にも参加し、中学生の英語指導、意識面での支援を行う。

他大学との連携

国内 One on One English

Skypeを活用したフィリピン講師との1対1講義により、話す・聴く・書く能力を高める。学生の利便性を高めるため、9時から21時まで使用可能な専用語学学修ブースを設置している。明治大学との実証実験を経て導入。

平成28年度実績

研修日程 9/10～9/20 11日間
研修地域 タイ・バンコク他
参加学生 10名
研修日程 3/12～3/21 10日間
研修地域 台湾・台北他
参加学生 12名

平成28年度実績

事前研修 5/7・6/11・6/22・7/22
研修日程 8/5～8/17 13日間
研修地域 アメリカ・ミズーリ他
事後研修 8/22・8/27・9/3
参加学生 4名

平成28年度実績

研修日程 8/18・8/19 2日間
参加学生 11名
参加児童 39名
テーマ ぐんまに見つけた！たった2日間だけの世界地図

平成28年度実績

受講学生 80名
受講率 4人に1人（H28卒業生）
最大伸長 TOEIC100点UP
受講者数 累計350名（H25～H28）

伸長する能力

異文化理解力

伸長する能力

実行力

傾聴力

伸長する能力

傾聴力

柔軟性

伸長する能力

語学力